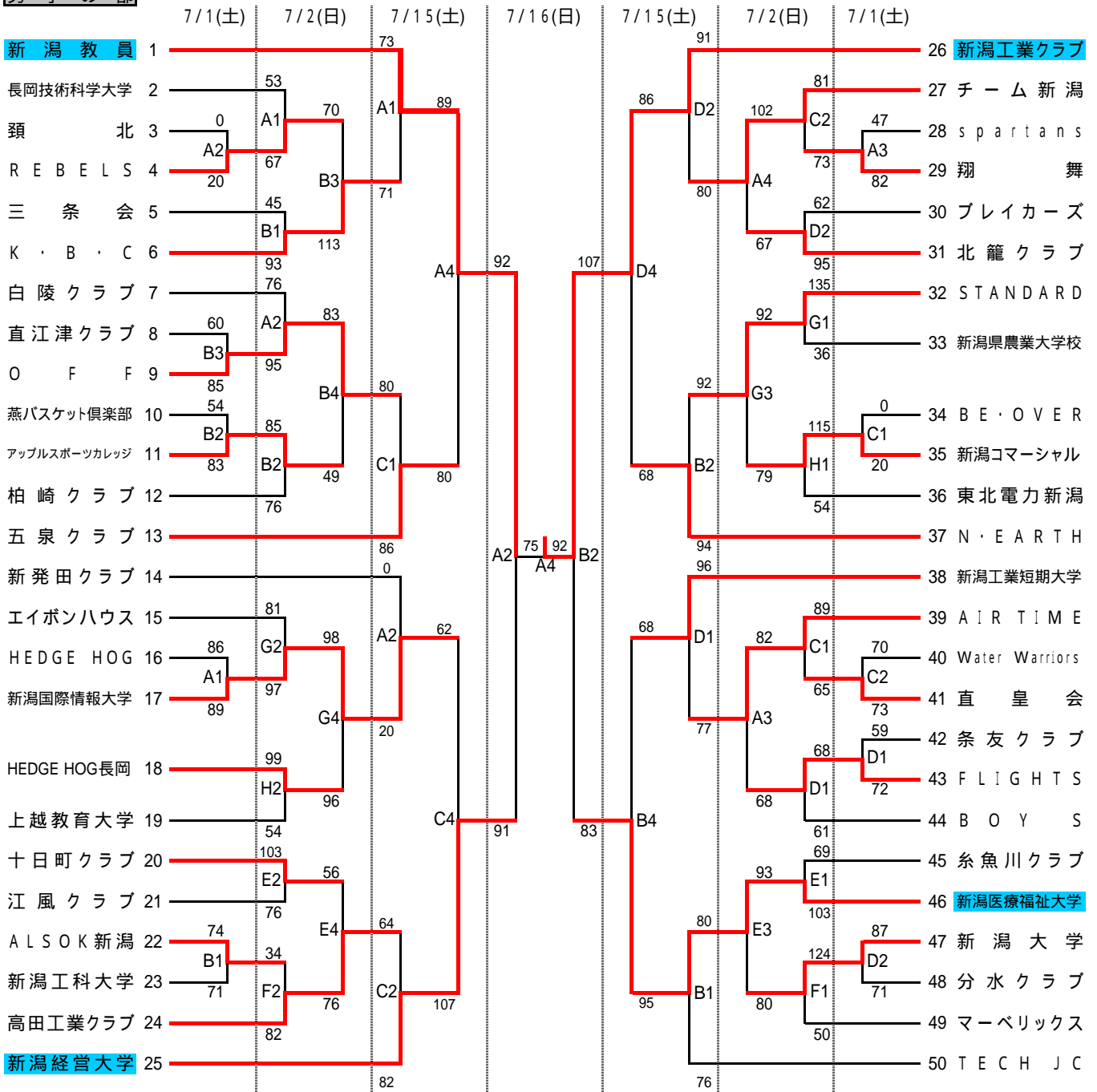
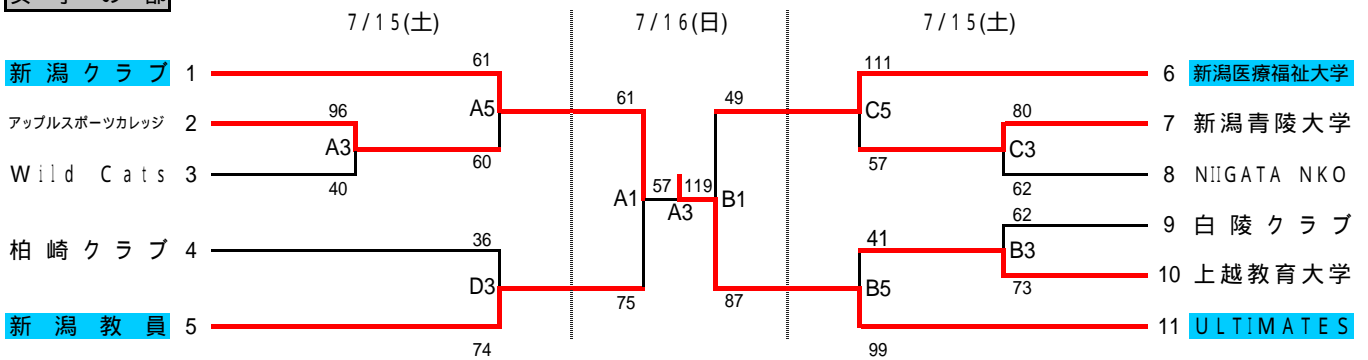


# 第51回新潟日報杯争奪バスケットボール大会

## 男子の部



## 女子の部



試合会場(コート)

A・B・C・D リージョンプラザ上越  
E・F 上越総合技術高校体育館  
G・H 高田北城高校体育館

試合時間

試合時間	1	2	3	4	5
7/1	12:00	13:40	15:20		
7/2	10:00	11:40	13:20	15:00	
7/15	9:00	10:40	12:20	14:00	15:40
7/16	10:00	11:40	13:20	15:00	

51回 新潟日報杯争奪 バasketボール大会  
男子 決勝戦 結果

新潟教員 75  $\left( \begin{matrix} 11 & - & 24 \\ 18 & - & 19 \\ 24 & - & 30 \\ 22 & - & 19 \end{matrix} \right)$  92 新潟工業クラブ

テーブルスコア

A 新潟教員						B 新潟工業クラブ							
No	選手名	得点	野投(本)		自由投 (本)	反則	No	選手名	得点	野投(本)		自由投 (本)	反則
			3点	2点						3点	2点		
	田中	13	0	5	3	1		斉藤	5	1	1	0	0
5	三浦						5	藤田	6	1	1	1	0
	猪又	6	0	3	0	3	6	長谷川					
7	近藤	0	0	0	0	0	7	村木	2	0	1	0	1
8	大脇	0	0	0	0	0	8	真保					
	小山	7	1	1	2	5	9	樋口	2	0	1	0	0
10	高橋	8	0	4	0	0		市川	13	2	2	3	4
	神田	16	0	7	2	3	11	和田	10	0	5	0	3
12	前田	0	0	0	0	2		内藤	27	2	9	3	0
13	島	6	2	0	0	1	13	伊藤(順)	2	0	1	0	3
	坂本	3	0	0	3	0	14	伊藤(豪)	0	0	0	0	1
15	坂井	5	0	2	1	3		村上	12	4	0	0	3
16	佐々木	0	0	0	0	2	16	佐藤					
17								大板	13	1	5	0	2
18	徳永	11	1	3	2	4	18	葛綿					
合計		75	4	25	13	24	合計		92	11	26	7	17

戦評

国体選抜メンバーがいない中行われた今大会、男子決勝は、苦しみながらも勝ち上がり、準決勝で新潟経営大に逆転勝利した新潟教員（以下教員）と順当に勝ち上がった新潟工業クラブ（以下工業クラブ）の対戦となった。1P、両者マンツーマンディフェンスでスタート。教員はファールがかさみ 小山を下げる中、工業クラブはインサイドで仕事をさせず、教員は攻め手を欠く。逆に工業クラブは、効果的に選手交代しながら自分たちのペースで試合を進め、村上、内藤の3ポイントシュート等で着実に加点し、このピリオド24-11の工業クラブリードで終わる。2P、教員は激しいゾーンディフェンスで追い上げをはかり、開始2分で26-19と5点差まで詰めるが、工業クラブはオフェンスの足を止めず、速攻、パスラン等で加点し、このピリオド43-29で、結局差は縮まらない。3P、教員は激しいオールコートマンツーマンディフェンスで流れを変えようとするが、2分過ぎから両チームとも足が止まり、73-53と工業クラブが差を広げる。4P、教員のオールコートディフェンスが効き始め、一時差を詰めるも、最後は工業クラブが逃げ切り、92-75で勝利を収めた。工業クラブは5年ぶりの優勝であった。

51回 新潟日報杯争奪 バasketボール大会  
女子決勝戦結果

新潟教員 57 (13 - 30)  
(19 - 22)  
(10 - 31)  
(15 - 36) 119 ULTIMATES

テーブルスコア

A 新潟教員		得点	野投(本)		自由投 (本)	反則	B ULTIMATES		得点	野投(本)		自由投 (本)	反則
No	選手名		3点	2点			No	選手名		3点	2点		
	谷内田	14	0	7	0	5		高岡	27	0	11	5	0
5	藤田	0	0	0	0	2	5						
	五十嵐	14	1	5	1	4	6	佐藤					
7	渡辺	4	0	2	0	1		高橋	6	0	2	2	0
8	樋浦	0	0	0	0	2	8	田中					
9	氏田	0	0	0	0	2	9	田辺					
10	石田						10	金田	25	0	9	7	0
	相場	10	0	5	0	4	11	川嶋					
12	高津						12						
13								斉藤	11	2	2	1	2
14	齋藤						14						
	小林	5	1	1	0	3	15	宇治	28	2	8	6	2
16	和田							村田	12	0	3	6	1
	渋谷	10	2	2	0	5		長沢	10	2	1	2	1
18							18	山中					
合計		57	4	22	1	28	合計		119	6	36	29	6

戦評

今年度の女子決勝は、3年ぶり4回目の優勝を狙うULTIMATES(以下ULTI)と、準決勝で昨年度優勝の新潟クラブを下し6年ぶりの優勝を狙う新潟教員(以下教員)とのカードとなった。

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。ULTIはセンター 高岡にボールを集めインサイドで確実に加点。このピリオドだけで15点の活躍。また、そこから 宇治、村田のミドルシュートが決まるなど、序盤からULTIがゲームの主導権をにぎる。一方、教員はULTIのディフェンスに対しパスが回らず苦戦。

谷内田、相場のインサイドでのシュートがあったが点差は縮まらない。1P30-13とULTIが大量リードを奪う。2P教員はディフェンスを2-3ゾーンに変えようと 谷内田、相場の連続得点で反撃する。しかし、ULTIは焦ることなく 長沢の連続3ポイントが決まるなど、52-32とULTIのリードは変わらない。

後半に入ってもULTIペースは変わらない。4Pになって教員はディフェンスを3-2ゾーンに変え、果敢にプレッシャーをかけボールを奪いにいき 小林 渋谷の3連続3ポイントも決まるがそこまで。結局119-57とULTIが3年ぶり4回目の優勝を果たした。